

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月15日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	津山市	代表者名	市長 谷口 圭三
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0868-32-2060
担当者役職	主査	担当者氏名	美若 辰徳
住所	708-8501 岡山県津山市山北		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	円城寺 雄介
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	「Society5.0の実現に関する講演」を通じて、講師のこれまでの取組や事例等を拝聴し、職員に様々な気づきを頂くことができた。また、講演会後に開催した意見交換会でも個別にご助言等をいただき大変有意義だった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月12日	10時30分	15時00分	60	210
3-2. 派遣場所	会場名	津山市役所	最寄駅	津山駅	
	所在地	岡山県津山市山北520	最寄駅からの交通手段	庁用車	
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市職員、圏域消防組合職員	35人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市行政事務に対する自治体DXの推進	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXに関する講演を通じ、本市職員の行政のデジタル化に向けた取組の機運を高め、今後の円滑な事業進捗につなげていきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・課題に向き合った際の心構えが重要。 ・共感やドキドキ、ワクワクする捉え方することで、デジタル化に限らず全ての事務事業に対するモチベーションの強化につながっていく	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講師の講演を拝聴し、地方においてICTに関するイノベーションの可能性が多くあること、講師が定義する課題に向き合う心構えなどを学び、職員の意識改革に繋げることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 アンケート集計
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙のとおり。 参加した職員が、講演から多くのものを学び得ることができたと評価している	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	津山市における行政のデジタル化の推進、市役所全体のモチベーションの強化	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

